

みずほ

発行 / 瑞穂町 編集 / 情報課 毎月1回1日発行
 〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町大字箱根ヶ崎2335
 ☎(042)557-0501 (代表)
 ホームページ <http://www.town.mizuho.tokyo.jp/>

人口と世帯 人口 33,993人 (18人増)
 男 17,364人 (12人増)
 女 16,629人 (6人増)
 3月1日現在 世帯 12,874 (26世帯増)
 ()は前月比 外国人登録数 636人

No.519

4月1日オープン 子ども家庭支援センターひばり



子ども家庭支援施設 愛称は「ひばり」

外観は採光を配慮。室内に太陽光がやさしく差し込みます。エントランスはガラス張りで2階まで吹き抜け。その2階からは富士山が望めます。

おもな内容

平成17年度 施政方針		2~3
平成17年度 まちの予算		4~5
町民意識調査の結果 NO.2		6~7
みずほ伝言板	国民年金制度が改正されます 住宅防音工事助成対象区域の見直し 町道の道路名称が決まりました ほか	8~11
福祉	地域保健福祉審議会委員募集 ほか	12~13
インフォメーション	指定管理者が決定 さくらまつり ほか	17~20
教育委員会からのお知らせ	美輪 明宏 音楽会〈愛〉ほか	21~23

平成17年度

施政方針

「人と自然が織りなすまち みずほ」の実現に向けて

平成17年第1回瑞穂町議会定例会で、石塚町長から17年度の施政方針が発表されました。そのあらましをお知らせします。

国の経済見通しでは、日本の経済情勢は、企業業績が回復基調にあるとしております。しかし、この企業業績の回復基調が、所得の回復や雇用の回復に必ずしもつながる状況とはなっておりません。

瑞穂町におきましても、宅地および商業地の基準地価は前年に引き続き下落傾向を示していることから、安定的財源である固定資産税の落ち込みが続くものと予想されます。また、三位一体改革における国庫補助・負担金削減の枠組みは、大筋で合意されたものの、本格的な税源移譲は18年度に行うとしており、17年度の財政状況も厳しいものが予想されます。

瑞穂町は、このような財政構

造の变革を克服し、将来都市像の実現に向け、これまでも増して自立性を示していかねばなりません。

新年度の予算編成にあたり、「各種施策について、より一層の創意と工夫を心掛け、質の高いサービスを提供すること。そのためには、町財政の状況を認識するとともに、国・都の制度変更等の動向に十分留意し、財源確保に努めること、また、真に必要な施策を選択すること」を指示いたしました。



以下、長期総合計画の施策体系に添って、重点施策を中心に申し上げます。

環境と共生する

まちづくり

昨年10月から実施している家庭ごみの一部有料化・戸別収集につきましては、町民の皆様のご理解とご協力により、順調に推移しています。ごみの減量と再資源化を進め、循環型社会の実現に向けて着実に取り組んでいきます。

また、町の要望を受け、現在防衛施設庁が進めているリサイクルプラザ周辺国有地の公園化事業ですが、秋には完了します。このため、これを無償で借り受け、環境学習と町民の憩いの場として有効に活用していきます。

指定を積極的に進めていきます。都市基盤づくりでは、箱根ヶ崎駅西、殿ヶ谷両地区の土地区画整理事業や都市計画道路福3・4・26号線および3・5・24号線整備事業を進めていきます。また、栗原地区においては、土地区画整理の事業化に向けた本格的な調査を行います。

地域生活に欠くことのできない生活道路の整備・改修につきましては、引き続き積極的に推進します。

市街化調整区域の下水道事業については、都市計画決定および事業認可の手続きを進めていきます。



箱根ヶ崎駅

公共交通整備につきましては、箱根ヶ崎駅東西自由通路および橋上駅舎が完成しましたので、今後は利便性をより一層高めるため、八高線の増発に向けての要請を関係機関に対し粘り強く行なっていきます。

防災では、消防団第3分団車庫の建設と殿ヶ谷防災倉庫の撤去・新設を行い、防災体制を強化します。

活力ある生活を支える
まちづくり

元狭山地域のコミュニティ活動の拠点となる地域施設の建設に着手します。また、長岡地区では、地域づくりの拠点施設の設置に向け、地元の方々の協議を進めていきます。

スポーツ・レクリエーションでは、町営グラウンド庭球場の照明塔や町営プールの改修を行います。

また、箱根ヶ崎駅前交番の設置により、地域の防犯体制が強化されます。各地域の町民の方々と協働して、さらに安全なまちづくりを進めていきます。

町の活力増進に欠かせない商業振興対策ですが、瑞穂町商店街振興プランに位置付けた各取り組みの具体化を図ります。

また、役場庁舎の一部をハコワークに提供し、町民の雇用機会の拡大につなげます。併せて、最近の消費者を取り巻くさまざまな問題に対処するために、消費者相談の窓口も同時に設置

します。

殿ヶ谷地区に大型店舗の出店が予定されていますが、利便性の向上や地域環境の維持・確保、地元雇用の促進等に向けての協議を継続していきます。

自らを高め
互いを認め合う
まちづくり

まず、児童・高齢者・障害者の福祉と保健を一体とした瑞穂町地域保健福祉計画の改定を行います。

児童福祉事業として、子ども家庭支援センターを開設します。相談事業や地域組織化事業のほか、ファミリー・サポート・センターをはじめとした在宅サービス事業などを通じて、総合的に子育てを支援していきます。また、認可外保育所利用者補助事業を引き続き実施します。

高齢者福祉事業ですが、高齢者福祉センター寿楽に、指定管理者制度を導入し、サービスの向上、事務の効率化および経費の節減を図ります。

高齢者の就業機会の拡大を担う拠点として、(仮称)シルバーワークプラザ新築工事に着手し

ます。



シルバーワークプラザ完成予想図

学校教育関係ですが、学校施設の震災時における安全の確保、また、地域の避難施設としての機能を確保する観点から、17年度は第五小学校の耐震診断調査を実施します。順次行っている学校トイレ改修については、第一小学校と瑞穂中学校の2校で工事を行います。そのほか、第二小・第五小学校プールの設備等の改修工事や、第二中学校除湿温度保持機能復旧工事の設計を行い、計画的に教育環境を向上していきます。

国際化施策ですが、昨年に続き日米親善演奏会と国際化推進派遣事業を実施します。

計画の推進分野

平成18年度が初年度となる瑞穂町長期総合計画後期基本計画の策定を行います。

また、第三次行政改革大綱を策定し、行政改革の推進に努めるとともに、各事業の目標や成果を検証し、事業の見直しを図る行政評価システムを推進します。

事業の推進にあたり、経費削減を徹底することはもちろんですが、歳入面においても、公平・的確な課税および徴収率の向上など自主財源の確保に努めるとともに、国・都支出金などの特定財源の確保に努力していきます。



以上、申し上げましたように、17年度におきましては、重点的な財源の配分を心掛けました。

全職員が常に、町民福祉のさらなる向上と、効率的かつ効果的な事業展開を念頭に置き、鋭意努力していく所存であり、市民の皆様のご支援をお願い申し上げます。

問合せ 企画課

☎557-7468

一般会計

116億7,230万円

「新たな瑞穂の創造に向けた予算」

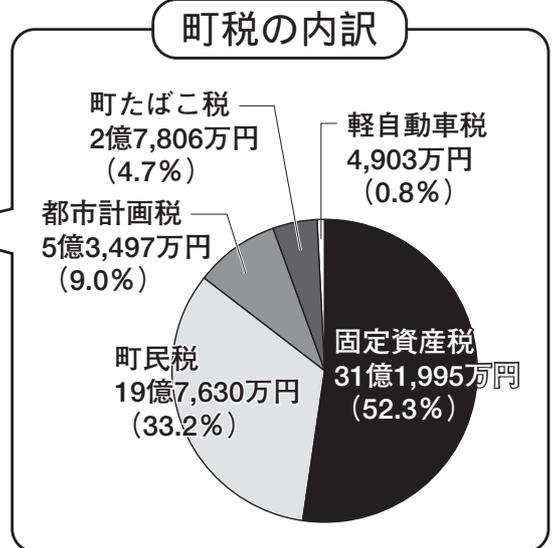
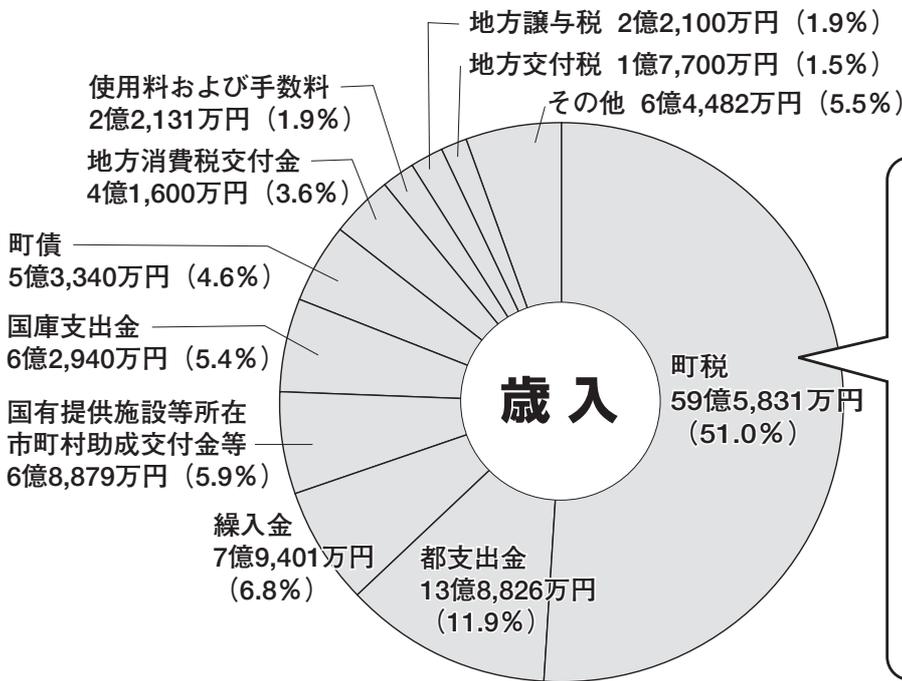
一般会計の歳入と歳出の内訳は、
円グラフのとおりです。
※ () 内の数字は構成比



平成17年度

まちの 予算

問合せ 財政課 ☎557-7483



- ◆**環境と共生するまちづくり**
- ◆**廃棄物の資源化とごみ減量化の促進**
 - 地区別ごみ収集委託……………1億9502万円
 - 生ごみ処理機器購入費助成金……………461万円
- ◆**公園・緑地**
 - 吉野橋だれでもトイレ新設事業……………949万円
 - 保存樹林地等奨励金……………289万円
 - 保存樹木診断調査委託……………47万円
- ◆**都市基盤づくり**
 - 駅西土地区画整理事業特別会計繰出金……………5億9185万円
 - 都市計画道路3・4・26号線築造工事 (飯能街道のザ・モール北側)……………9520万円
 - 殿ヶ谷土地区画整理組合助成金……………9000万円
 - 栗原土地区画整理事業調査業務委託……………3542万円
- ◆**防災**
 - 消防団第3分団(石畑地区) 車庫等新設事業……………4430万円
 - 殿ヶ谷防災倉庫新築等工事……………523万円
 - 防災用井戸水質検査・実態調査委託……………261万円

施政方針に沿って各事業を展開していきます。

環境と共生するまちづくり

予算の使い道
平成17年度の主な事業

～総額について～

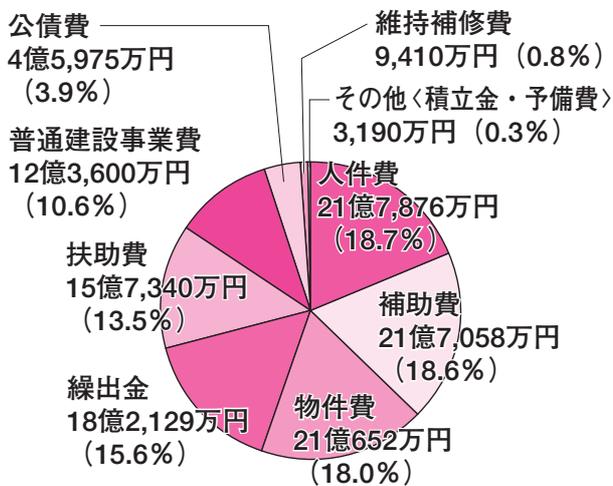
特別会計を含めた総額は、194億9,715万円となり、前年度より7.3%の減額となりました。

なお、受託水道事業費は、水道管理業務を都へ移管したため、廃止となります。

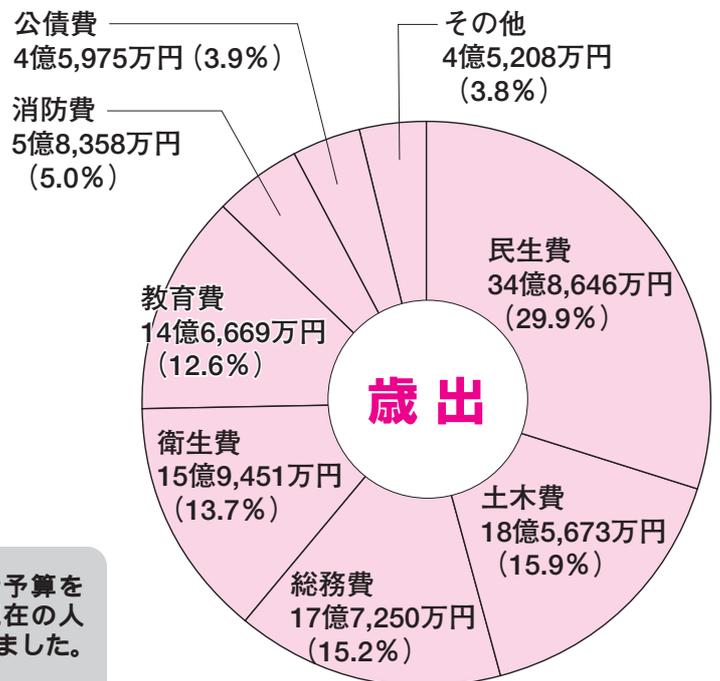
●平成17年度予算の会計別内訳と前年度との比較

会計名	平成17年度	平成16年度	比較	伸び率	
一般会計	116億7,230万円	133億5,660万円	16億8,430万円	12.6%	
特別会計	国民健康保険	28億2,076万円	27億 65万円	1億2,011万円	4.4%
	駅西土地区画整理事業	8億7,796万円	5億7,767万円	3億 29万円	52.0%
	下水道事業	11億4,376万円	15億2,767万円	3億8,391万円	25.1%
	老人保健医療	17億 734万円	17億1,546万円	812万円	0.5%
	介護保険事業	12億7,503万円	10億9,600万円	1億7,903万円	16.3%
受託水道事業	特別会計廃止	4,920万円	4,920万円	100%	
小計	78億2,485万円	76億6,665万円	1億5,820万円	2.1%	
合計	194億9,715万円	210億2,325万円	15億2,610万円	7.3%	

性質別



目的別



町民1人当たりには換算すると
343,374円 が使われます

一般会計予算を
3月1日現在の人口で割りました。

$$116億7,230万円 \div 33,993人 = 343,373.63...$$

活力ある生活を支えるまちづくり

◆コミュニティ・スポーツの振興

- (仮称)元狭山コミュニティセンター新築事業 ……8100万円
- 長岡地域施設建設用地取得 ……8470万円
- 町営グラウンド庭球場照明塔改修事業 ……3766万円

- 町営プール改修事業 ……2161万円

◆商業の振興

- 新元気を出せ商店街事業補助金 ……140万円

◆その他

- 庁舎別棟改修事業(ハローワークの受け入れと消費生活相談室の設置) ……1625万円

自らを高め互いを認め合うまちづくり

◆福祉

- (仮称)シルバーワークプラザ新築事業 ……1億7816万円

- 地域福祉計画見直し事業 ……1157万円
- 認可外保育所利用者補助事業 ……1111万円

◆学校教育

- 第一小・瑞穂中トイレ改修事業 ……1億6981万円
- 第一小プール循環ろ過機取替事業 ……700万円

◆国際化施策

- 国際化推進派遣事業委託 ……320万円
- 日米親善地域交流会 ……124万円

町民意識調査

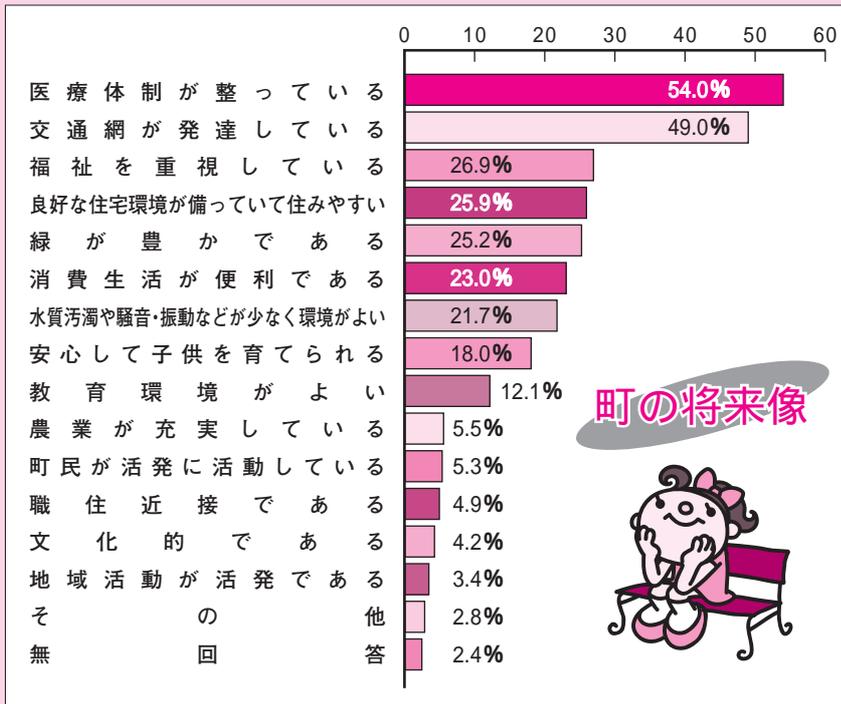
NO.2

結果を報告します

先月号より、昨年9月に行われた第3次長期総合計画後期基本計画を策定するための町民意識調査の結果をお知らせしています。今月号は瑞穂町の将来像や満足度などについてお知らせします。

問合せ 企画課 ☎55717468

医療や交通網が整ったまちになってほしい…



瑞穂町がどのようなまちになってほしいと思いますか

町の将来像

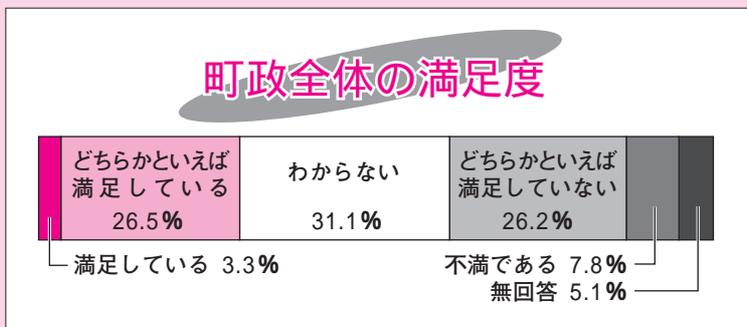


町の将来の姿については、前回（平成11年調査）、今回ともに、「医療」「交通網」が整っていることが強く望まれています。特に今回は前回調査に比べ、この2つの将来像への希望が増えています。また、「緑が豊かなまち」も前回に比べ上昇しています。

今回の調査で、利便性と自然環境への志向の高まりが、これまで以上に見られる結果となりました。



町政全体の満足度



町政に対してどの程度満足していますか

満足度については、全体で見ると「わからない」が最も多くなっています。また、「満足している」「どちらかといえば満足している」と考える人よりも「不満である」「どちらかといえば不満である」と考えるの方が上回っています。

ただし、前回調査に比べると、満足度は若干ながら上昇傾向にあります。

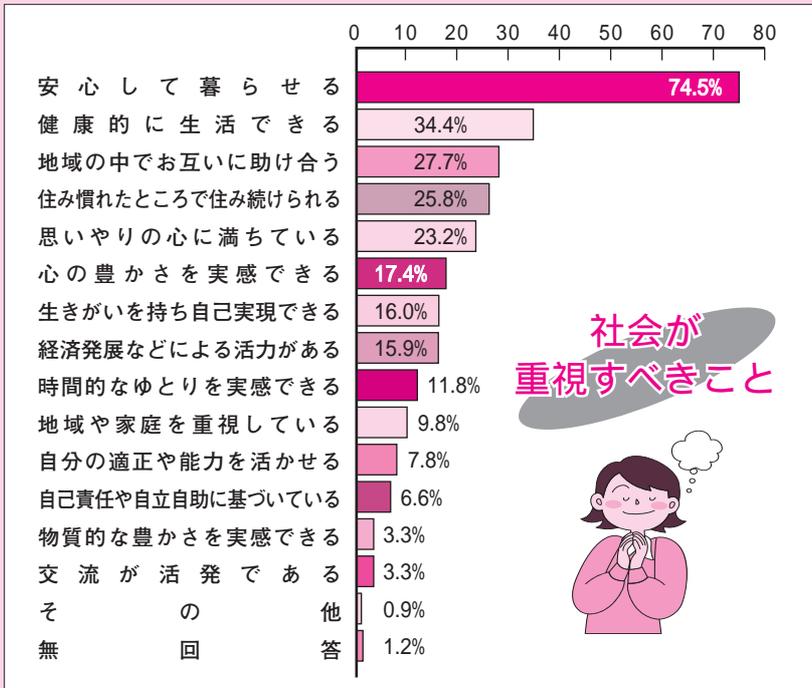


回答者の74.5%

安心して暮らしたい



これからの社会は何を重視するべきと考えますか



社会が重視すべきこと



「安心して暮らせること」を4人に3人が挙げており、他の回答を大きく引き離しています。

第2位の「健康的に生活できること」は、前回より若干低下しています。

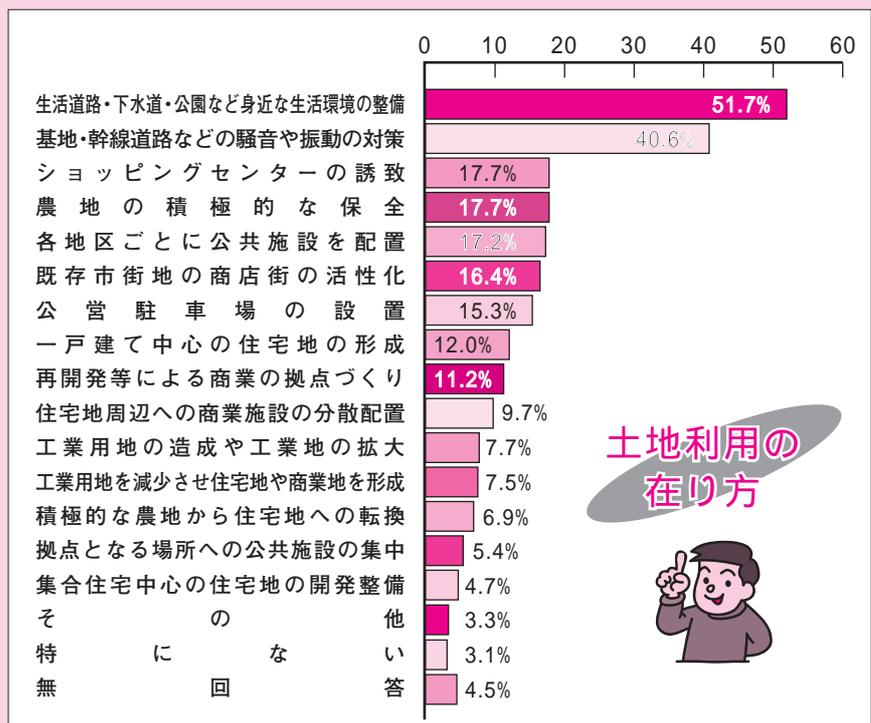
これらに次いで挙げられている「地域の中でお互いに助け合うこと」「住み慣れたところで住み続けられること」「思いやりの心に満ちていること」は、いずれもわずかながら上昇しており、地域社会における町民同士のつながりが深まっていくことへの期待が高まっていると思われます。このことは、地域で「安心して暮らせる」ことにもつながるものであろうと考えられます。

●●●「町民意識調査報告書」は企画課、情報公開コーナー、図書館、町ホームページでご覧いただけます●●●

土地利用の在り方について何が重要だと思えますか

住宅地・商業地・工業地・公共施設・農地などの在り方について重要だと思われるものを尋ねたところ、「生活道路・下水道・公園などの身近な生活環境を整備する」「基地や幹線道路などの騒音、振動などの対策を講じる」が1位2位と、他の回答を引き離して挙げられています。

前回調査でも同じような結果でしたので、生活の基盤となる施設や公害防止など、環境の向上が引き続き多く求められています。



土地利用の在り方

